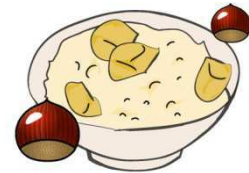


相談室だより (みさき) 2016年10月

担当：みさき病院 MSW 金子 宗志郎

こんにちは。6月の相談室だよりで坂口さんよりご紹介いただきました、金子です。早いもので入職して半年、MSWとして仕事をすることになって4か月がたってしまいました。そろそろみさき病院のスタッフの方にもMSWとして認識されてきているのではないかと考えています。日々の主な業務は、物忘れ外来のインテーク面接や南病棟（回復期）の退院支援です。社会人1年目で慣れないことが多く、日々悪戦苦闘しておりますが、先輩方の指導をいただき何とかやれている現状です。

今回は私が担当させていただいている回復期リハビリテーション病棟について簡単にご説明いたします。



◆回復期リハビリテーション病棟ってなんなの？

回復期リハビリテーション病棟は、命の危機を脱してもまだ医学的・心理的サポートが必要な時期の患者さんを対象に受け入れ、多くの医療専門職がチームを組んで集中的に毎日リハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的としています。

これらの患者さんに対し、チームの各担当スタッフが入院後、寝たきりにならないよう、起きる、食べる、歩く、トイレに行く、お風呂に入るなど（これらを「日常生活動作」(ADL)といいます)への積極的な働きかけで改善を図り、家庭復帰を支援していく病棟です。



◆どんな方が入院できますか？

対象となる疾患として、脳梗塞や脳出血などの脳卒中、大腿骨頸部骨折、脊髄損傷、頭部外傷、肺炎や外科手術の治療時の安静による廃用症候群（安静状態が長期にわたって続くことによっておこる、様々な心身の機能低下のことです）などがあります。また、入院までの期間も決まっていて、発症または手術日から「2カ月以内」、股関節、膝関節の神経や靭帯損傷後の診断は「1ヶ月以内」に入院しなければなりません。



◆どのくらいの期間入院できますか？

前述したとおり回復期リハビリテーション病棟には対象疾患があります。その対象疾患によって入院ができる期限が決まってきます。たとえば、脳梗塞や脳出血などは150日以内、高次脳機能障害（脳がダメージを受け、記憶・思考・言語などの機能が低下した状態）を伴った重症の脳血管障害は180日以内、大腿骨頸部骨折、廃用症候群（安静状態が長期にわたって続くことによっておこる、様々な心身の機能低下のこと）は90日以内、股関節・膝関節などの神経、筋や靭帯の損傷は60日以内となっています。実際には患者さんの状態等により、院内のスタッフと相談しながら決めていきます。



◆回復期リハビリテーション病棟での毎日の生活は？

1日のリハビリテーションは9単位を3単位ごとに3回に分けて行われています（1単位=20分）。リハビリテーションは病棟内にとどまらず、入院中の生活の場である病棟においても、「廊下を歩く」「食事をとる」「トイレに行く」「お風呂に入る」など、日常生活全般を見据えた訓練を行っています。また、ご家族へもリハビリテーションの見学や介助指導等、リハビリテーションの場面にも積極的に関わっていただいています。そして、退院に向けて試験的に外出や外泊を行ったり、看護師やリハビリテーションスタッフ、ソーシャルワーカーがご自宅を訪問させていただくこともあります。また、介護者への負担軽減や、患者にとってもより自立した生活が送れるよう、介護保険等でのサービス利用についての検討も行っています。

◆回復期リハビリテーション病棟から退院する先はどんなところがありますか？

退院先は自宅に戻られて生活を再開される方、新たな生活場所として介護老人保健施設、介護老人福祉施設、有料老人ホームなど施設を選び入所される方など様々です。



◆大牟田市で回復期リハビリテーション病棟のある病院はありますか？

大牟田市では、みさき病院のほかにも米の山病院、済生会病院、天領病院が回復期リハビリテーション病棟を持っています。

以上、簡単な説明となってしまいましたが、いかがだったでしょうか？入院から退院まで、患者様・ご家族様との話し合いを重ねながら医師・看護師・介護福祉士・リハビリテーションスタッフ・MSWと他職種で連携しお手伝いさせていただきます。入院・退院に際し、何かお困りのことがありましたら気軽にお声掛けください。

ご精読ありがとうございました！11月号に続きます・・・